

令和6年度のキーワード

生徒・教職員共に、○自ら学ぼうとする学校 ○一人ひとりを大切に作る学校 ○分からないことを聞ける学校

一中だより

六ヶ所村立第一中学校
4月号
令和6年4月19日発行
文責：岩田 誠

31名のみなさん入学おめでとうございます



大人になるって何だろう～入学式の式辞より～

4月8日(月)、令和6年度「入学式・始業式」を行いました。入場では少し緊張気味の新入生でしたが、話を聞く態度はとても立派でした。

さて、今回の学校だよりの第1号では入学式・始業式で校長先生が述べた式辞の中から抜粋してお伝えします。

「大人になるって何だろう。物分かりがよくなって、ケンカをしないことだろうか。あるいはなんでも自分でできて、誰かに迷惑をかけないことだろうか。」3月21日の朝日新聞に四国・松山で弁護士をされている射場和子(いば かずこ)さんのことが書いてありました。彼女の事務所にある日、5歳の男の子がやってきました。お母さんとの相談が終わり、帰るときのことでした。「次の来るときはもっと大きくなっているかな」射場さんの問いかけに男の子はにっこりし、大きく手を挙げ「やさしくなるよ」と話したそうです。射場さんは「彼にとって、大きくなることは優しくなる」ということ。私には衝撃的でした。～略～

中学生という時期の皆さんが「優しくある」ためにできることは何だろうと考えてみました。

その1つが「自分の良い点を見つける」です。自分の良い所を知っている人は自分に自信があります。

もう1つが「たくさん勉強する」です。ただ単に点数をあげるだけの勉強ではなく、昨日まで知らなかったことを今日の自分は少しでも知る努力をすることです。

この2つは簡単なことではありませんが、取り組むことによって「たくましく、優しく、思いやりのある人」になってくれると思います。この中学校生活で勉強する楽しみを、知らないことを知っていく喜びを経験してほしいと思います。